

研究発表途中経過

2010年にスポーツ健康科学科が開設されて以来、2年生による探究学習の成果発表会を毎年実施しています。生徒たちは自ら研究テーマを設定し、先行研究を調査したうえで、できるだけオリジナリティのある実験・調査計画を立案します。

乙訓高校では硬式野球部、陸上競技部、フェンシング部、バドミントン部、柔道部、水泳部（水球）を重点種目としていますが、スポーツ健康科学科はこれらに限定されず、バスケットボール、バレーボール、スポーツクライミング、トライアスロン、新体操など、さまざまな競技に取り組む生徒が在籍しています。研究テーマも競技力向上に限らず、スポーツマネジメント、健康科学、生涯スポーツなど、幅広い視点から設定することができます。研究を進めるうえでは、日程調整や被検者（協力者）の確保など、準備段階の調整が非常に重要です。実験・調査の結果をまとめた後は、初めて聞く人にもわかりやすく伝えるために、視覚・聴覚に訴えるプレゼンテーションを行います。このようなプロセスは、将来スポーツや健康以外の分野に進む場合でも活かすことができ、意見を表現し、わかりやすく伝えるコミュニケーション能力の育成につながります。現在、予備実験を開始しているグループや、これから実施予定のグループなど、進行状況は様々です。

11月上旬に中間発表、2月上旬に校内発表会を実施予定です。さらに、2月18日（水）には、体育系学科・コースを設置する府立高校6校（乙訓・洛北・鳥羽・久御山・西城陽・綾部）による合同研究発表会も開催されます。

各グループには担当教員がつき、指導を行っています。今回は、乙訓高校が導入している動作分析機器【SPLYZA Motion】について、株式会社 SPLYZA の方からもアドバイスをいただきました。

